

温暖化に対して私たちにできることって？



ふだんの暮らしの中でどれくらい地球温暖化防止に貢献できるか、チャレンジしてみませんか？

脱炭素型ライフスタイルを考える ワークショップ in 鹿児島



地球温暖化につながる温室効果ガスの排出を実質ゼロにする『脱炭素社会』の実現に向けて、政府、自治体、企業などが動き出しています。私たちも今のライフスタイルを見直すことで温暖化防止に貢献し、脱炭素社会へと変わるきっかけを作ることができます。2回のワークショップと日常生活の中でできる家庭実験を通して、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

1回目

2021年
12/11 (土)
13:00～16:00

2回目

2022年
1/22 (土)
13:00～15:00

応募資格： 鹿児島市内に在住または通勤・通学している方(先着30名)

参加費： 無料

開催手段： かごしま環境未来館 多目的ホール
(鹿児島市城西二丁目1-5)

ファシリテーター： 大田 純子
(IGES研究員 / パリ協定日本政府代表団員)

申込み方法：

①申込みフォームから
(右QRコードより)

②IGESウェブサイトから
<https://bit.ly/3CpWF4h>



【主催】

IGES
公益財団法人
地球環境戦略研究機関

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)
北九州アーバンセンター (担当：赤木)

〒805-0062 北九州市八幡東区平野 1-1-1 国際村交流センター 3F TEL：093-681-1563
Eメール：kitakyushu-info@iges.or.jp ウェブサイト：<https://www.iges.or.jp/>

【後援】

鹿児島市

13 気候変動に
具体的な対策を



ワークショップの流れ

※このワークショップは環境省事業「令和3年度都市地域炭素マッピング調査等委託業務」の一環で実施しています。

01 事前準備

- 説明動画を視聴する
- オプションカタログを確認する
- アンケートに答える



事務局から、ワークショップの説明動画、日常生活の中で実践できる行動を集めた「オプションカタログ」、アンケートなどを第1回ワークショップの1週間前頃にお送りします。事前に動画の視聴、カタログの内容確認、アンケートの回答を済ませておいてください。

02 ワークショップ (1回目)

- ワークショップに参加する



ワークショップで、どのような行動がどれくらい温暖化対策に役立つのか、どんな相乗効果をもたらすのか、また、そのような行動を促すためには何が必要なのか、などについて話し合います。

※ワークショップは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催いたします。また、感染症流行の状況によってはオンラインでの開催へと変更となることがあります。

03 家庭実験 (2週間)

- 選んだ行動を実践する



ワークショップで選んだ行動を日常生活の中で実践します。実際にどれくらいできるか、どんなサポートがあったら続けられるかなどを考えながら2週間チャレンジしてみてください。皆さんの実践結果をもとに、事務局が「鹿児島市民の考える1.5℃ライフスタイル2030」(下記『脱炭素型ライフスタイル』って何?) 参照) の草案をまとめます。

04 ワークショップ (2回目)

- ワークショップに参加する



事務局がまとめた「鹿児島市民の考える1.5℃ライフスタイル2030」の草案を見ながら、さらなる改善に繋げるべく意見交換をし、脱炭素型ライフスタイルのもと2030年の社会像を皆で共有します。

「鹿児島市民の考える1.5℃ライフスタイル2030」は、皆さんの意見を踏まえて事務局が修正し、鹿児島市に提出して市政に役立ててもらいます。

「脱炭素型ライフスタイル」って何?

脱炭素社会の実現に繋がる私たちのライフスタイルのことです。ライフスタイルには、「食事」、「移動」、「住居」などが含まれます。

IGESは、ライフスタイル・カーボンフットプリント[※]に着目し、2030年までに目指すべきライフスタイル・カーボンフットプリントの水準と脱炭素型のライフスタイルの選択肢、そのそれぞれの定量効果を科学的に評価し公開しています。それによれば、国民ひとりあたりのライフスタイル・カーボンフットプリントを、現在の約7.6トンから2030年までに約2.5トンに減らすことが求められています。



(参考:『1.5℃ライフスタイルー 脱炭素型の暮らしを実現する選択肢ー 日本版要約版』ダウンロード URL: <https://www.iges.or.jp/jp/pub/15-lifestyles/ja>)

※私たちの日々の生活を支えるための製品やサービス、活動などを通じて直接的・間接的に排出される温室効果ガスの総量のこと。

主催者について

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)は、「京都議定書」が採択されたことを契機に環境省のイニシアティブによって1998年に誕生しました。以来、気候変動や生物多様性、循環型社会など地球上のさまざまな環境問題について実践研究や社会連携を行っています。

北九州アーバンセンターは、IGESのサテライトオフィスとして1999年に北九州市に設立され、脱炭素社会、循環経済、グリーン成長、SDGsのローカライゼーションなど地球規模の環境問題に対する地域の取組を強化することを目指し、自治体や国、民間企業、市民団体、国際機関などと密接に連携した研究や活動を進めています。



IGES 北九州アーバンセンター
(北九州市・国際村交流センター3F)

「脱炭素社会」って何?

2020年以降の地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」は、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2℃より充分低い、1.5℃に抑える努力を追求することを目的としています。この目的を達成するためには、地球温暖化につながる温室効果ガスの排出を実質ゼロにする社会(脱炭素社会)を今世紀後半までに実現しなければなりません。日本国内でも政府、自治体、企業などが脱炭素社会の実現に向けて動き出しています。